

- 【3・4年生女子の部】
 ① 渡曾月海 ② 鳴美桃花 ③ 宇賀田七海
 ③ 藤原一華



- 【5年生男子の部】
 ① 有延祐樹 ② 木下虎 ③ 松田虎之助
 ③ 角石流侍



- 【5・6年生女子の部】
 ① 小林奈央 ② 磯口夢桜 ③ 中張菜柚
 ③ 松井百花



- 【6年生男子の部】
 ① 河野誠輔 ② 日原弘翔 ③ 宇賀田陽大



剣道七段に昇段して

大柴 敏昭

平成29年11月18日、名古屋での七段審査会において合格することができました。これも素晴らしい先生方、指導者に恵まれ、多くの剣道仲間の支えられてきたおかげです、ありがとうございます。また、教室の子ども達と共に剣道の稽古をできたことにも感謝しています。

私は中学校に入学と同時に剣道を始め高校卒業するまで続け、藤原淳作先生に教えていただきました。その後、剣道から離れてしまいましたが、今から約25年前に剣道を再開しました。当時、剣道七段とは雲の上の存在であり、剣道のプロという認識でした。自分にはと



ても無理で、五段が精々と思っていましたので、五段を取得すれば目標達成としていました。ところが暫くして、小椋先生そして檜皮先生が七段を取得されました。特に檜皮先生とは同じ教室にて稽古していましたので、大きな刺激を受けました。このことよって、再度自分の目標を檜皮先生とし、その時に剣道を教えてくださっていた黒田先生を師匠として昇段に取り組みとしました。

黒田先生は、剣道に対する知識が豊富で、竹刀の握り方、振り方、構え方、立ち合い時の礼の方法等の基礎的なことから、攻めの方、崩し方、打突の仕方、残心等の実践的な内容等、一つ一つ丁寧に教えていただきました。そして稽古は厳しく、切り返し、掛り稽古、区分稽古等を行い、この稽古の中で、これらを繰り返すことにより、体で覚えこませるようになり

てきました。中身については多くありませんが、昇段することができたので、少しでも表現できていたと稽古については続けていきたいと思っております。今回の昇段はひとえに黒田先生のおかげです。感謝の念に堪えません。

最後になりますが、今回の昇段審査に当たって、池田先生、神澤先生、小椋先生、檜皮先生、西岡先生、田畑先生、橘川先生を始め、他に多数の先生方より、ご指導や、激励の言葉をいただきましたこととお礼申し上げます。今後は、七段として恥じない剣道ができるよう、稽古を続けて行きま